金剛ふるさとバス

# 平日1日フリー乗車券の発売金額について

令和８年度　第３回
利用促進分科会　資料２

令和8年度 第2回 富田林市、太子町、河南町及び千早赤阪村地域公共交通活性化協議会（令和8年8月5日（水）開催）において、平日1日フリー乗車券の発売について承認を得ました。
ただし、発売金額については金剛ふるさとバス利用促進検討分科会で議論の上決定すべきとの意見があったため、協議するものです。

| 発売金額（案） | 金額の根拠 |
|---|---|
| 600円 | 土休日1日フリー乗車券の発売金額＋100円 |
| 800円 | 最高額の片道運賃400円×2 |
| 1,000円 | 周遊による複数回利用を見込んだ額 |

※各発売金額の比較は、参考資料1（第2回協議会資料）のとおり

# 令和8年8月5日　第2回協議会で出た意見（要約）

- 猪井委員

後になって金額を上げにくいことを考慮すると、当初は1,000円から始めて、効果を見ながら価格を修正していくのはどうか。ただ、デジタルスタンプラリーで使ってもらうことを目的に発売を考え始めたものであり、せっかく費用をかけて構築するものなので、3月31日までは利用促進の目的にも使用することとしてもいいと思う。最終的な決定は、金剛ふるさとバス利用促進検討分科会で議論し、考え方を整理しようと思う。

- 田中委員（太子町長）

平日1日フリー乗車券の価格設定は、その目的によって大きく変わると思う。もし、利用促進が目的であれば、土休日1日フリー乗車券（500円）の現状を踏まえ、比較的抑えた価格で導入すべきでは。土休日1日フリー乗車券の利用状況もそれほど多くないと聞いているので、今回の平日1日フリー乗車券を今後も継続していくのか、一時的な利用促進として導入するのかという目的を明確にする必要がある。この点も金剛ふるさとバス利用促進検討分科会で再度検討してほしい。

## 平日1日フリー乗車券を導入する趣旨

**1カ月間のデジタルスタンプラリーイベント実施にあたり、参加者が平日でもおトクに金剛ふるさとバス沿線を回遊できるような環境整備を行う。**

**上記の趣旨により、イベント参加のハードルを下げ、一人でも多くの方にお試し感覚でご利用いただける価格設定とするため、発売金額を「600円」とします。**




| 発売内容 | |
|---|---|
| 発売期間 | 令和8年11月24日～令和9年3月31日 |
| 発売金額 | 600円 |
| 利用日 | 平日 |
| 利用時間 | 9時～17時 |
| 有効期間 | 令和9年3月31日までの1日に限る |